

つるかしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和7年度）2025年

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	12	20	土	9:00	15:00	第二はちの巣保育園	6名
活動名称	第二はちの巣保育園イベント 竹細工支援					報告者：小澤 邦彦	

1. 活動目的

「はちの巣保育園」は自然の中で遊びながら体力と感性を育み、五感を活かした体験を大切にし、自立を促すサポートを行う事を目指し、市内に2つの保育園を運営されています。

この趣旨に賛同し、保育園の活動に参加させていただいている。また、会員になっていただいている保母さんもいます。

昨年に続き「はちの巣保育園」のスタッフから、第二はちの巣保育園のイベントでも、竹細工体験会を実施してほしいと依頼がありました。

幼少のころから、親と一緒に竹細工を行い自然の素材にふれることで、地域の自然に対する理解と、好感度を高める効果があると信じ保育園に協力しています。

2. 活動内容ほか

第一はちの巣保育園で好評だった大いこん弓矢体験を実施しました。

10時の開始から終了時まで、入れ替わり体験希望者が絶えませんでした。安全でシンプルですが的を射るという達成感を刺激する体験のようでした。

竹細工では、竹ぼっくり、けん玉。花瓶などを作り、自分で竹を切って輪を作つての輪投げ体験に取り組みました。竹トンボの人気は高いものの、まだ全部自分で作るまでは難しく、相当部分をメンバーが作り、飛ばして遊ばせました。

こども達も小さい時からのこぎりを体験すると、とても上手に使うものだと感心しました。

途中、降雨となったものの大型シートの借用することができほぼ不自由なく、作業をすることができました。（この間は希望者が少なく手持ち無沙汰でしたが。）

余った竹は全て寄付することになりました。

3. 評価：

- 園長先生から、園の行事の中で竹あかりの制作を行いたいので、竹の提供と制作指導をお願いできないかとの依頼があり、受けることを回答しました。
- 園で「里山サポートクラブ」の看板を作られており、期待の大きさがうかがえました。

4. 課題

- 竹のこぎりが切れないものがあり、使用後の清掃と廃棄すべきものと分別の必要があります。
- 参加者にとって、竹細工は何ができるかはイメージがなく、何をつくったらよいか迷う人がほとんどです。ある程度の見本などを示して置く必要があると思います。

＜里山クラブ参加会員＞

内藤、小澤(邦)、小沼、小嶋、金、柳川

＜活動写真＞

